



## 地域の魅力 再発見

校長 疋田 敦士

5月14日に新潟県を含む39の県で、緊急事態宣言が解除されました。少しほっとするとともに、再拡大のおそれも指摘されていることから、まだまだ、慎重な対応が求められると考えています。子どもたちの安全な学校生活を維持・継続していくためにも、まずは、マスクの着用、こまめな手洗い・うがい、十分な換気、人との適切な距離感など、新しい生活様式に基づく教育活動を確実に進めていくことが必要です。学校では、繰り返しの声かけとともに、子どもたち自らの意識を高め、新しい生活様式を学校でも家庭でも実行できるように、指導・支援して参ります。



さて、このような状況ですが、教育活動が再開し感染症対策を取りながら、少しずつ通常の活動を増やしています。その一つが地域への校外学習です。先日、3年生の地域探検に引率する機会がありました。3年生の学習は、生活の場である学区について調べることが目的です。宇賀神社では、間隔をあげながら長い階段を登り、頂上の社殿から周りを見渡すと、この地域が山と海に囲まれていることがよく分かりました。昔はお城もあり、立地条件にも適していたようです。両津大川集落では、津神島公園内にあるパワースポットや版画制作が盛んになった由来を知ることができました。両尾の海岸では、「めのう」というきれいな天然石をたくさん見付けることができました。普段の生活の中で、当たり前のように目にしている風景ですが、目線を上にやったり下に落としたりすることで、新しい発見がありました。3年生の子どもたちは、メモを取ったり、体験したりしながら、身近な地域にある自然の豊かさや歴史の深さを感じ、驚いていたようです。

今回の活動以外にも、花笠踊りや民話などの伝統文化に触れたり、久知川の環境やホテルについて調べたり、米作りや塩作り体験や佐渡金山の見学など、佐渡のよさを感じることができる様々な活動があります。このような五感を生かした活動は、きっと、地域の魅力を再発見することにつながるとともに、子どもたちの心の中にいつまでも残り、地域を愛する気持ちを育んでいくと思います。